

事業報告書

(第8期)

自 令和7年5月1日
至 令和8年4月30日

公益社団法人 日本義肢装具士協会
文京区本郷 5-32-7



I. 公益目的事業

1 義肢装具をはじめとした福祉用具を必要とする者の生活の質の向上に資する事業

1-1 講座事業

本事業では、国民に対し、義肢装具等の福祉用具を必要とすることが非日常ではないことや、義肢装具等の福祉用具を使用しながら良質な日常生活を送ることに対する理解を深め、対象者の日常生活の質の向上を目的として実施した。

1) 市民公開講座（学術大会の開催に関する事業）

第 31 回学術大会において、市民公開講座を開催した。（7 月 20 日）

- ・「義足ランニングクラブの活動と実情」
- ・「薩摩切子の伝承と革新」

2) 障がい者、義肢装具士の啓発に関する事業

高校生など一般者を対象に、障害の理解、パラアスリートとこれを支援する義肢装具士に関する理解を 目的に交流イベントを開催した。

■ 第 1 回 教育機関等への義肢装具啓発プログラム

日 程：2025 年 8 月 5 日（火）

場 所：武蔵野市 中央高等学院通信制 （web にて開催）

時 間：10：30～（15～20 分）

対 象：中央高等学院と提携校の高校生

内 容：①チーム医療について

②チーム医療に関わる職種紹介

- ☐ 仕事の内容の紹介
- ☐ どうしてその職業を選んだのか
- ☐ その仕事の魅力は 等

③質疑応答

■ 第 52 回 国際福祉機器展(H.C.R.2025)における義肢装具啓発プログラム

日 程：2025 年 10 月 8 日（水）～ 10 日（金）

場 所：東京ビッグサイト （西 2 展示ホール）

時 間：10:00～17:00 ※最終日は 10:00～16:00

対 象：一般来場者

内 容：公益財団法人 テクノエイド協会、公益社団法人 日本義肢協会士協会、一般社団法人 日本義肢協会、日本義肢装具教育者連絡協議会、一般社団法人 日本福祉用具・生活支援用具協会（JASPA）各団体協力の元、義肢装具士の認知拡大により将来の義肢装具士を目指す人材を確保すること、コメディカルスタッフへ義肢装具の必要性を啓発することを目的に下記の

体験ブースを展示する

- ①義肢装具に関する相談コーナー
- ②筋電義手体験・実演コーナー
- ③大腿義足実演コーナー
- ④3D 技術による義肢装具製作コーナー
- ⑤PR ビデオ（アニメーション）等放映コーナー
- ⑥関連資料展示コーナー

■ 麴町小学校児童からの質問への回答

日 程：2025 年 11 月 17 日（月）提出

目 的：様々な職業について理解を深め、職業選択について考える

内 容：生徒 1 名からの質問への回答

- ①仕事内容について
- ②仕事をする時に楽しいと思う時について
- ③仕事の時に感じる嫌な事について
- ④仕事で気を付けている事について
- ⑤目指している事について

■ R7 日本公認心理師協会からの動画制作依頼

目的：日本公認心理師協会会員および一般の方々（中高生とその保護者の方々）への
義肢装具士の資格・業務内容の広報

内容：義肢装具士の資格・業務について／公認心理師との連携について

動画モデル：20～30 歳代の現場で働く義肢装具士

動画時間：約 3 分

■ R7 チーム医療推進協議会 中央高等学院 高校生対象 冬休み職業探究講座

日程：2025 年 12 月 10 日（水）

場所：武蔵野市 中央高等学院通信制 （web にて開催）

時間：11：20～（15～20 分）

対象：中央高等学院と提携校の高校生

内容：①チーム医療について

②チーム医療に関わる職種紹介

- ☐ 仕事の内容の紹介
- ☐ どうしてその職業を選んだのか
- ☐ その仕事の魅力は 等

③質疑応答

■十文字学園女子大学 「臨床看護実習」における講義

日程：2025 年 12 月 22 日（月）

場所：十文字学園女子大学 10 号棟 1038 教室

時間：12：45～14：30（3 限目）

対象：教育人文学部心理科 3 年生 26 名

内容：Ⅰ．義肢装具士による小児用装具に関する講義

①解剖の簡単な復習、②義肢装具の概要、③小児用装具の種類、④装着時の注意
点・確認事項、⑤車椅子や座位保持装置（姿勢保持装置）

Ⅱ．装具装着体験

短下肢装具（シューホーン型、両側支柱付短下肢装具）の装着介助・歩行体験

Ⅲ．義肢装具展示閲覧

■R7（株）日本医療企画 石川県「お仕事まるわかり事典」職業紹介ページの執筆・校正

1-2 災害時支援事業

本事業では、国内外の自然災害等の被災地域において被災生活を送る者への生活支援及び義肢装具等の福祉用具の供給に関する支援を各行政機関や関連団体と連携して実施した。

1) 一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）の構成団体としての取り組み

（大規模災害被災者支援に関する事業）

理事会、各委員会への理事および委員の派遣、有事の際の人員派遣、福祉用具調達支援の調整、マニュアルの整備を行う。

2) ミャンマー難民切断者支援（大規模災害被災者支援に関する事業）

タイ・ミャンマー国境地域におけるミャンマー少数民族切断者への義肢供給支援を目的としている。

FR-ACTS 財団がタイ・ターク県メソトに設置した義足製作施設 Prosthetic Production Unit (PPU) に従事するスタッフへの技術移転、義足製作に必要な資機材の供与などを行う。

令和 7 年度外務省 N 連パートナーシップ事業に申請し、2026 年 2 月同省より承認を受けた。

事業は同年 3 月 11 日にスタートしており、期間は 1 年間である。

2 義肢装具をはじめとした福祉用具に関する学術・技術の向上、研究開発及びその成果の普及・振興に資する事業

2-1 学術大会に関する事業

本事業では、義肢装具等福祉用具に関する学術を普及・発展させ、臨床に役立つ知識と技術を向上させる目的で、教育講演並びに対象者に関する医療、リハビリテーション及び日常生活面での支援について臨床経験又は学術経験を有する者の研究成果発表、及び最新機器等の情報提供を実施した。

1) 学術大会（学術大会の開催に関する事業）

2025 年 7 月 19 日（土）、20 日（日） カクイックス交流センター（南日本支部）

2-2 研修セミナーに関する事業

本事業は、義肢装具士が義肢装具等の福祉用具に関する最新技術又は知識を学び、臨床において従来から実施している医療技術を応用発展することで、対象者へより良質な医療技術の提供を実現することを目的とする。

1) 義肢装具士に対する教育セミナー（研修セミナーに関する事業）

- ・ 2025 年 7 月 5 日(土) WEB 担当：研修委員会

義肢装具事業所・義肢装具士に関わる労働安全衛生セミナー

～大丈夫ですか？ あなたの職場環境は？～

- ・ 2025 年 9 月 13 日(土) 対面座学・WEB（ハイブリット開催）担当：研修委員会東北支部

フットケアで繋がる多職種連携と義肢装具士

～東北の PO が支える地域社会～

- ・ 2025 年 9 月 13 日(土)～15 日(月・祝) 実技 担当：研修委員会南日本支部

坐骨収納型ソケット実技セミナー ライナー編

～正確な知識と技術を習得するために～

- ・ 2025 年 10 月 11 日(土)、12 日(日) 座学・実技 担当：研修委員会西日本支部

下腿義足バキュームソケットの基礎と応用 ～先輩から学ぶ永久保存版ノウハウ～

- ・ 2025 年 12 月 13 日（土）対面座学 担当：研修委員会中部支部

就労支援を目的とした義手の考え方、訓練について

- ・ 2026 年 2 月 8 日（日）実技 担当：研修委員会東日本支部

前腕義手顆上懸垂式ソケットの採型と陰性モデル適合 ～後進への技術伝達～

2) 養成教育推進のための講習会

- ・「臨床実習指導者講習会内容検討会」の開催

臨床実習指導者講習会の開催に向け、義肢装具士養成校教員を対象とした「臨床実習指導者講習会内容検討会」を、以下の通り 2 日間に亘って開催した。

主 催： 公益社団法人 日本義肢装具士協会

協 力： 日本義肢装具教育者連絡協議会

開催時期： 令和 8 年 1 月 31 日（土）、2 月 1 日（日）※2 日間

開催方法： オンライン開催

参 加 者： 義肢装具士養成校 教員 20 名

2-3 新たに資格を取得した者に対する教育セミナー（生涯学習に関する事業）

本事業は、新たに義肢装具士の資格を取得した者に対し、義肢装具士の業務について理解を深め、義肢装具士が対象者にとって医療技術を習得した専門家としての支援者になるための育成カリキュラムを提供した。

1) 生涯学習標準カリキュラムの実施

- ・新人プログラム

 - 動画講座の実施（WEB）

 - 対面講座 7月19日（土）学術大会（鹿児島）にて開催（対面）

- ・一般プログラム 臨床基礎コース

 - 動画講座の実施（WEB）

 - 対面講座 7月19日（土）学術大会（鹿児島）にて開催（対面）

3 国際協力及び貢献に資する事業

3-1 国際支援活動事業

本事業は、福祉用具に関する技術及び使用に関して発展・開発途上にある国又は地域の人々に対する支援として、海外在住の対象者(国籍問わず)に対し、日本の福祉用具に関する最新医療技術を提供する義肢装具士の活動に対して助成するもので、義肢装具士の技術及び臨床経験を活かして、海外の対象者の日常生活の質の向上及び福祉用具の普及・発展を図るための、国際協力・国際貢献事業である。

1) 国際支援活動助成事業 *国際支援活動助成金の申請はなし。

3-2 関連団体との連携・支援事業

本事業では、医療技術関連団体と連携協力し、国内外の福祉用具に関する医療技術の普及・発展に貢献できるよう活動を行う。公益法人及び公益性のある団体が実施する学術、教育、講演、国際支援などの活動に対し、学術・技能向上のための提携交流、支援活動、助成等を行うことがある。

1) 義肢装具関連団体との協力・協働事業の実施

- 義肢装具関連 3 団体協議会への参画

- 日本義肢協会各支部との連携

- 香港義肢矯形師學會との交流

- ISPO 日本支部との連携

4 義肢装具をはじめとした福祉用具に関する刊行物の発行及び調査研究事業

4-1 学術誌の発行

福祉用具に関する学術論文集として、学術大会等で発表され、その研究成果について討議された義肢装具士の優れた研究論文及び義肢装具士の職域に関連する学術情報を特集記事として提供する学術誌を発行する。

1) PO アカデミージャーナルの発行（電子版）

33 巻 1 号：「短下肢装具の新たなアプローチ」

33 巻 2 号：「生活期での装具使用者における問題と解決にむけて」

33 巻 3 号：「特殊義足の理論と実践～近年の傾向を踏まえて」

33 巻 4 号「車椅子におけるシーティング入門」を発刊

4-2 白書の発行

1) 『義肢装具士白書 2025』発刊にむけてデータ収集、執筆作業、原稿確認、編集作業中

II. その他の事業（相互扶助等事業）

1. WEB サイトでの会員限定の情報提供

義肢装具士求人情報の掲載

理事会・委員会等の議事録の掲載

2. 各支部(地域)での会員管理や運営方法についての会議

3. 全正会員を対象とした義肢装具士賠償責任保険制度

全正会員の賠償責任保険への加入

III. 理事会、総会等の開催

1. 理事会の開催

第 1 回 令和 7 年 6 月 28 日 10 : 00～14 : 30 形式：テレビ会議（Zoom）

第 2 回 令和 7 年 7 月 20 日 9 : 20～ 9 : 45 形式：対面（鹿児島市）

第 3 回 令和 7 年 10 月 5 日 10 : 00～16 : 30 形式：対面&テレビ会議（Zoom）

第 4 回（臨時）令和 7 年 10 月 27 日 19 : 30～20 : 30 形式：テレビ会議（Zoom）

第 5 回 令和 7 年 12 月 21 日 10 : 00～13 : 45 形式：対面&テレビ会議（Zoom）

第 6 回 令和 8 年 3 月 28 日 10 : 00～15 : 47 形式：テレビ会議（Zoom）

第 7 回（臨時）令和 8 年 4 月 21 日 19 : 30～20 : 00 形式：テレビ会議（Zoom）

2. 常任理事会の開催

第1回	令和7年5月22日	形式：テレビ会議（Zoom）
第2回	令和7年6月19日	形式：テレビ会議（Zoom）
第3回	令和7年8月27日	形式：テレビ会議（Zoom）
第4回	令和7年9月26日	形式：テレビ会議（Zoom）
第5回（臨時）	令和7年10月21日	形式：テレビ会議（Zoom）
第6回	令和7年10月29日	形式：テレビ会議（Zoom）
第7回	令和7年11月27日	形式：テレビ会議（Zoom）
第8回	令和7年12月11日	形式：テレビ会議（Zoom）
第9回	令和8年1月22日	形式：テレビ会議（Zoom）
第10回（臨時）	令和8年2月2日	形式：テレビ会議（Zoom）
第11回（臨時）	令和8年2月9日	形式：テレビ会議（Zoom）
第12回	令和8年2月25日	形式：テレビ会議（Zoom）
第13回	令和8年3月24日	形式：テレビ会議（Zoom）
第14回	令和8年4月23日	形式：テレビ会議（Zoom）

3. 社員総会の開催

3-1 定時社員総会

令和6年度 事業報告書・計算書類承認等

日 時：令和7年7月20日（日） 8：35 ～ 10：10

場 所：カクイックス交流センター 1階 第1会場 メインホール

所 在 地：鹿児島市山下町 14-50

3-2 臨時社員総会

増員理事承認

日 時：令和7年12月21日（日） 9：00 ～ 10：00

場 所：対面（義肢会館）＆テレビ会議（Zoom）

所 在 地：文京区本郷 5-32-7

Ⅳ. 運営体制の充実を図るための取組

1. 公益法人内部における規範

- 1) 「コンプライアンス規程」を制定しているほか、「個人情報取扱規則」の制定・運用により会員・受講者などの多くの個人情報を扱う組織としてのリスク管理に努めている。
- 2) 個人情報保護規程及び個人情報保護方針を策定し、職員に周知している。

2. 法人運営における具体的取組み

- 1) 適切な法人運営を行うため、理事会のほか、会長副会長会議および常任理事会を開催している。
- 2) より適切な法人運営を行うために、定款をはじめとする各種規程の整備を行っている。

3. 社会的課題の解決に向けた事業の効果に係る定性的・定量的測定

- 1) 研修事業の効果測定に係る取組として、受講者を対象にアンケート調査を実施することにより、受講者の研修ニーズを把握し、翌年度に策定する研修計画及び今後の研修カリキュラム内容の充実を図っている。

以上

事業報告の附属明細書

令和7年度（令和7年5月1日～令和8年4月30日）事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の 内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益社団法人 日本義肢装具士協会